

IR University

第6回 「IRと資本市場シンポジウム」のご案内

～ESとガバナンス、IRとの融合(コンバージェンス)に向けて～

ごあいさつ

コーポレートガバナンス・コードが適用されて2年目が過ぎました。資本市場では、いよいよ本格的な企業によるガバナンスへの真摯な取組みに関するコミュニケーションを期待しています。また、ESGも、海外の投資家にとっては投資手法のひとつとして、本格的に重要な地位を占めてきました。IR担当者の出番です。企業内外において、イニシャティブを取ることができた企業・IR担当こそが、この「不透明がノーマル」の時代の勝者となるでしょう。

基調講演といたしまして、青山学院大学 国際マネジメント研究科教授の北川哲雄先生、および今回は、長らくガバナンスのコンサルティングに携わり、英国・欧州企業の「取締役会評価」を多数手掛けておられるジョン・C・ウィルコックス氏にご登壇いただき、IRとガバナンスの融合(コンバージェンス)について、語っていただきます。

また、毎年、大討論会となりますパネルディスカッションでは、長らく機関投資家の議決権行使の責任者を務められたのち、金融庁にて開示専門官を務められたスチュワードシップ研究会 代表理事 木村祐基氏をお迎えし、北川先生、ウィルコックス氏、さらに弊社の高山を交えて展開いたします。

今回は、場所を変え、茅場町「カフェサルバドル ビジネスサロン」にて、皆様も論戦に参加していただけるような演出を考えております。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

開催趣旨

- ESGとIRとの関連
- コーポレートガバナンス・コードがもたらしたさまざまな変化と課題
- 取締役会評価と開示手法
- 今後のエンゲージメントへの対応に向けて など

登壇者

青山学院大学 教授 北川 哲雄 氏、

Sodali Ltd. 会長 John C. Wilcox 氏

一般社団法人スチュワードシップ研究会 代表理事 木村 祐基氏

青山学院大学大学院 国際マネジメント研究科 (ESG研究者) 近藤 成径 氏

ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社 岩田 宜子、高山 与志子、鈴木 紀子

日時、会場

2016年11月17日(木) / シンポジウム: 受付9:30より 懇親会: 16:00より

カフェサルバドル ビジネスサロン (中央区日本橋茅場町1-5-8 東京証券会館1階)

<http://cafe-salvador.com/#access>

※ 今回は、会場が変更になっております。お間違えのないようお願いいたします。

スケジュール(予定)

時間	講演内容	講演者
10:00～10:15	ご挨拶および今回のテーマ趣旨	岩田 宜子
10:15～11:15	基調講演① 「新アナリスト規制時代の IR 活動」	北川 哲雄 氏
11:15～11:35	E と S に関するコミュニケーションについて	鈴木 紀子
11:40～12:30	昼食 (お弁当をご用意いたします)	—
12:30～13:45	基調講演② 「欧米企業における取締役会評価の実態と IR の関わり方」	John C. Wilcox 氏 ※ 逐次通訳がつきます
13:45～14:20	「取締役会評価とその開示について」	高山 与志子
14:30～16:00	大討論会 「IR 担当者の multidisciplinary な役割 ～ESG と IR の融合(コンバージェンス)にむけて～」	John C. Wilcox 氏 北川 哲雄氏 木村 祐基 氏 近藤 成径 氏 高山 与志子 モデレーター:岩田 宜子 ※ 逐次通訳がつきます
16:00～17:00	懇親会	

参加費用

受講経験企業※ 一人 5,000 円(税別) / その他企業 一人 10,000 円(税別) 昼食・懇親会費用を含む

※早稲田大学と共同開講のIR講座 (IRO 講座およびIRE講座) 及び「IRと資本市場シンポジウム」、ならびに弊社開催の各種 IR University に受講経験のある企業を対象と致します。

<ご参考> 過去 3 回の IR University 「IRと資本市場シンポジウム」のテーマ

第 5 回: 中長期運用株主を増やすコーポレートガバナンスとIR活動

第 4 回: IRとガバナンスの大転換期 ～ステュワードシップ・コード、コーポレートガバナンス・コード、伊藤レポートで、企業経営はどう変わるか～

第 3 回: 次世代IR活動の課題は何か～発展した 20 年を回顧しつつ将来を先取りする～New coresのためのターゲティングIR時代を迎えて～

北川 哲雄 (きたがわ てつお)

青山学院大学大学院 国際マネジメント研究科 教授

1981年より野村総合研究所、モルガン銀行(現 JP モルガン・アセットマネジメント)等でアナリストを経て2005年より現職。専門は「コーポレート・コミュニケーション」および「コーポレート・ガバナンス」。環境省 ESG 検討会座長(現任)。

John C. Wilcox (ジョン・C・ウィルコックス)

Sodali Ltd.会長

ヨーロッパ、アジア、新興国の上場企業にコンサルティングサービスを提供するSodali Ltd.にて、会長を務める。前職では、世界最大級の米公的年金であるTIAA-CREFにおいて、2005年から2008年までシニア・バイス・プレジデント兼ヘッド・オブ・コーポレート・ガバナンス(コーポレート・ガバナンス・議決権行使の最高責任者)の任にあり、世界のガバナンスにおけるオピニオンリーダーの一人。プロクシー関連サービスを提供するGeorgeson & Companyの会長を務めた経験も持つ。世界の主要機関投資家が参加する国際組織、国際コーポレート・ガバナンス・ネットワークの理事を務め、同組織のクロスボーダー議決権行使委員会の委員長でもあった。その他、コーポレート・ガバナンス、企業法務、資本市場関係の様々な団体に参加。議会や監督官庁に対しても証券規則に関して様々な証言を行っている。取締役教育プログラムにおける講義も多数実施。ハーバード大学でB.A.(学士号)を取得し、Phi Beta Kappa Club(ファイ・ベータ・カッパ・クラブ、ハーバード大学の成績優秀者のみから構成されるソサエティ)のメンバー。その後、Woodrow Wilson Fellowとしてカリフォルニア大学バークリー校で、M.A.(修士号)を取得。さらに、ハーバード大学ロースクールでJ.D.(法学博士号)、ニューヨーク大学ロースクールでL.L.M.(法学修士号)を取得し、現在、ニューヨーク弁護士協会の会員。

木村 祐基 (きむら ゆうき)

一般社団法人スチュワードシップ研究会 代表理事

一橋大学商学部卒業後、野村総合研究所入社。企業調査部にて証券アナリスト業務に従事。第四企業調査室長、野村総研香港社長、エマージング企業調査部長を経て、1996年野村投資信託委託(現野村アセットマネジメント)に移籍。企業調査部長兼経済調査部長、参事コーポレート・ガバナンス担当などを歴任。2008年1月から2010年8月まで、企業年金連合会年金運用部コーポレート・ガバナンス担当部長。2010年11月から2014年7月まで、金融庁総務企画局企業開示課専門官。2014年10月から現職。

近藤 成径 (こんどう しげみち)

青山学院大学大学院 国際マネジメント研究科 修士課程2年(ESG研究者)

1988年4月、三共株式会社(現 第一三共株式会社)入社、約10年間人事部門に在籍(工場労務、人事、人材開発)。

1998年9月、広報部門に異動し約16年間IR業務に携わる。三共・第一製薬の経営統合(2005年9月)、インド大手製薬企業の買収(2008年6月・・・2014年に撤退)等において、実務の責任者としてIRコミュニケーションを担当。

2015年1月、第一三共を退職し、同年4月、青山学院大学大学院(Aoyama Business School)に入学。北川哲雄教授の指導を得て、ESG/企業価値向上/IRコミュニケーション等を研究中。

2013年7月～2014年8月 経済産業省「持続的成長への競争力とインセンティブ」(伊藤レポート)プロジェクトに参加。

岩田 宜子 (いわた よしこ)

ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社 代表取締役

1992年よりIR業界でのキャリアを開始、1994年米国IRコンサルティング会社日本支社長就任後、日系初のグローバル・IRコンサルティング会社、ジェイ・ユーラス・アイアール(株)を設立し、2001年代表取締役に就任。2007年より2011年まで東証上場会社表彰選定委員。日本IR学会理事。

高山 与志子 (たかやま よしこ)

ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社 マネージング・ディレクター

メリルリンチ証券会社ニューヨーク本社投資銀行部門にて、日本企業の国内外での資金調達、格付け取得、M&Aなどに関するアドバイスをを行う。1997年トムソングループに入社、2001年より、現職。国際コーポレート・ガバナンス・ネットワーク(ICGN)理事(2010年-2015年)。金融庁・東京証券取引所「スチュワードシップ・コード及びコーポレートガバナンス・コードのフォローアップ会議」メンバー(現任)。経済産業省・東京証券取引所「なでしこ銘柄選定基準検討委員会」委員(現任)。経済産業省「コーポレート・ガバナンスの対話の在り方 分科会」委員(現任)。

以上